

-----10月22日-----

※ 今週のアウトルック (10/22~10/26)

先週は全般的に円安が進む週となりました。

米候経済指標の改善やスペイン国債の格付け据え置きなどを受けて、リスクオン傾向が少しずつですが強まっています。

今週もこの傾向は持続すると思われませんが、各通貨ペアともレジスタンスラインにさしかかっているため、一度は調整に入ってから次の上昇タイミングを待つ可能性が強くなるかもしれません。

ドル円は先週、結果的には一本調子の円安が進み、第一レジスタンスの79円付近を超え、次のレジスタンスである79.5円付近まで到達して週末を迎えています。

今週は米国経済指標の結果次第では、80円超えを狙いに行く場面もあるように思いますが、そこを超えて一本調子の円高を継続する可能性は少ないように思います。

ドル円の予想レンジは78.8円から80.4円です。

ユーロは、スペイン国債の格付け据え置きなどポジティブな材料が増えていますが、先週後半には、ユーロドルの1.315付近のレジスタンスに引き戻されています。

今週このラインを突破して、もう一段上の1.35付近まで到達するのか、それとも、1.28から1.315付近のレンジ的な動きになってしまうのか、可能性的には後者のほうが少し高いように思います。

ユーロ円もこの動きと合わせて、104円から108円のレンジに一段上昇するか、それとも100円から104円のレンジに終始するか、こちらも少し後者優勢と見ています。

ユーロ円の予想レンジは100円から108円です。

ポンド円は上昇トレンドを継続しているようにも見えますが、128円付近のレジスタンスが予想通り厚く、しばらく125円から128円付近のレンジ相場を形成する可能性が少し高くなってきたように思います。

ポンド円の予想レンジは125円から128円です。

今週も米国経済指標の予想外の数字には、大きく反応しそうですが、レジスタンスラインに差し掛かっている通貨ペアも多く、一本調子の円安継続の可能性は少し弱いように思います。

**\*免責事項\***

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。